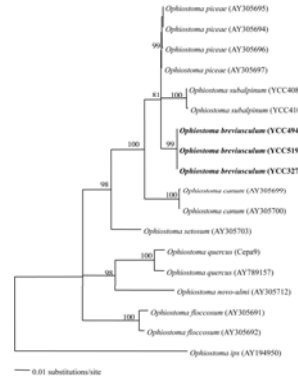
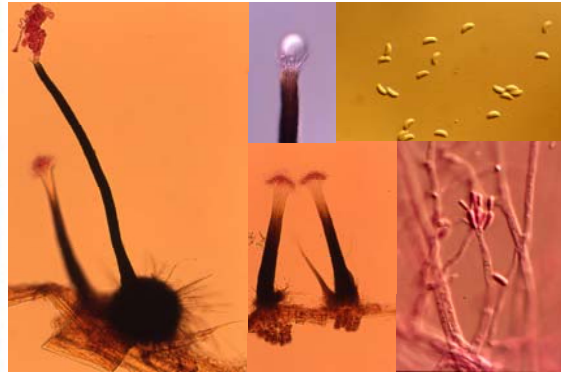


植物寄生菌学

柿蔭 眞(教授)、山岡 裕一(准教授)、阿部淳一(助教)

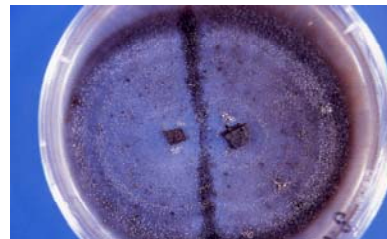
2) 青変菌類の分類、生態、寄生機能の解明

菌類のなかには、樹皮下キクイムシによって樹木内に持ち込まれ、材の変色(青変)を起こしたり、樹木を枯死させる能力を有するものが存在する。これらの菌類の多くは、青変菌、あるいはオフィオストマ様菌類と呼ばれる菌群に属する。この菌群には、未記載種や分類学的に問題を抱えている菌群が多数存在する。これら菌類の形態観察、分子系統学的解析、交配試験、生態的情報等に基づき分類システムの構築、種分化メカニズムの解明を行っている。また、樹木に対する病原性の評価並びに樹木枯損のメカニズムの解明を行っている。



Ophiostoma属菌の1種

テレオモルフ、アナモルフの形態観察、分子系統学的解析、交配試験、生態的情報等に基づき分類学的位置づけを決定する。



樹皮下キクイムシの一種、ヤツバキクイムシとそれが伝搬する青変菌類によるエゾマツの立枯れ被害

右上から時計回りに、ヤツバキクイムシの成虫、内樹皮に形成された孔道、辺材の青変、エゾマツ被害木

樹木に対する病原性の評価

菌類の接種により形成された内樹皮の壊死病斑と辺材部の青変と乾燥部。その大きさにより病原性の相対的強さを評価する。

